

令和7年10月1日

鳥栖市議会
議長 松隈 清之 様

総務常任委員会
委員長 中村 直人
副委員長 伊藤 克也
委 員 森山 林
委 員 尼寺 省悟
委 員 江副 康成
委 員 永江 ゆき
委 員 松隈 清之
委 員 池田 利幸

総務常任委員会 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

總務常任委員會
所管事務調查報告書

1 調査事項

- (1) 第7次鳥栖市総合計画前期基本計画における令和5年度指標実績について
- (2) 鳥栖駅・新鳥栖駅周辺整備事業について

2 調査方法

執行部への聞き取り、質疑等

3 調査期間

令和5年12月から令和7年11月まで

4 調査結果（委員会で行った聞き取り、質疑の内容）

調査日 令和6年11月7日

- (1) 第7次鳥栖市総合計画前期基本計画における令和5年度指標実績について

① 基本目標1. 自然との共生を図り、未来へつなぐまち

施策1. 自然環境保全と循環型社会の推進

【指標】・市民1人当たりのCO₂排出量（環境課）

- ・市民1人当たりの資源物以外のごみ排出量（環境課）
- ・リサイクル率（環境課）
- ・環境美化活動参加者数（環境課）

主な質疑の内容

- ・リサイクル率の目標値について
- ・リサイクル率の算定方法について
- ・家庭系、事業系のごみの傾向について

② 基本目標2. 快適な生活を支えるまち

施策2. 魅力ある賑わい拠点の形成

【指標】・鳥栖駅利用者数（駅周辺整備課）

- ・新鳥栖駅利用者数（駅周辺整備課）

主な質疑の内容

- ・駅の利用者を増やしていくことについて
- ・駅を拠点にした賑わい創出について

③ 基本目標3. 安全で安心して暮らせるまち

施策1. 市民の大切な生命と財産の保全

【指標】・自主防災組織の組織率（総務課）

- ・防災ラジオ配布数（累計）（総務課）
- ・消防水利施設（消火栓）の設置数（累計）（総務課）

施策2. 暮らしの安全と安心の確保

【指標】・防犯灯設置数（累計）（総務課）

主な質疑の内容

- ・自主防災組織の組織単位について
- ・防災ラジオの配布先について
- ・防犯灯設置の地区からの要望への対応について

- ・防犯灯の在り方について
- ④ 基本目標3. 安全で安心して暮らせるまち
施策2. 暮らしの安全と安心の確保
【指標】・ニセ電話詐欺発生件数（市民協働課）
基本目標4. 誰もがいきいきと暮らせるまち
施策6. 自己実現の喜びにつながる生涯学習の推進
【指標】・生涯学習講座参加者数（市民協働課）
施策8. 男女共同参画社会の実現
【指標】・男女共同参画に関する講座等の参加者数（市民協働課）
 - ・審議会・委員会等の女性委員の割合（市民協働課）
 - ・DV等防止に関する広報啓発の実施回数（市民協働課）施策9. 多文化共生社会の実現
【指標】・多文化共生に関する催しの参加者数（市民協働課）
 - ・語学ボランティア登録者数（累計）（市民協働課）主な質疑の内容
 - ・市の女性職員の管理職割合について

⑤ 基本目標5. 子どもが心豊かに育つまち
施策4. 青少年の心豊かな育みの推進
【指標】・放課後子ども教室の参加子ども数（市民協働課）
主な質疑の内容
 - ・放課後子ども教室の受入可能人数について

第7次鳥栖市総合前期基本計画における令和5年度指標実積について、各担当課より説明を受けたのち、当委員会として、令和6年度に向けて施策内容や指標について上記内容の意見、要望等行ったところである。

また、令和7年決算委員会においても、令和6年度指標実積について報告を受け、意見、要望等を行ったところである。

(2) 鳥栖駅・新鳥栖駅周辺整備事業について（駅周辺整備課）

調査日 令和7年6月20日

- ① 鳥栖駅周辺整備事業
○鳥栖駅東短期施策検討会
次の5案について意見を聴取する。
 - ・第1-1案 南側地下通路の延伸+東口設置
 - ・第2-1案 跨線橋+改札連絡通路
 - ・第3案 新規地下通路+東口設置
 - ・第4案 跨線橋+東口設置
 - ・第5案 北側地下通路の延伸+東口設置

【検討会での主な意見】

- ・スピードが最も重要であり、コストをかけない工夫は大切。
- ・駅東側だけでなく駅西側からも鳥栖駅を使いやすくなるように整備を進めてほしい。
- ・日常的に人が訪れる施設の立地を考えることが重要。

○鳥栖駅東短期施策えき・まちづくり協議会

【協議結果】

第1－1案及び第2－1案に絞って、検討を深度化する。

主な質疑の内容

- ・鳥栖駅東短期施策えき・まちづくり協議会の議事録について
- ・鳥栖駅東短期施策えき・まちづくり協議会の今後の予定について
- ・鳥栖駅東短期施策決定後のJR九州との交渉の必要性について
- ・2案の優先度について
- ・当面の間の東口対策について

② 新鳥栖駅周辺整備事業

○新鳥栖駅東側まちづくり検討調査業務

【内容】

- ・これまで調査地区の条件等の確認、対象となる地区における自然条件、地形、道路状況等の現況確認を行った。
- ・今後、調査、条件の整理を行い、民間事業者へのヒアリングなどを実施し、まちづくりの基本構想や実現方策について検討する。

主な質疑の内容

- ・周辺の開発について
- ・土地利用構想案について
- ・西九州新幹線、山浦スマートインターを含めた検討について

令和5年8月から令和6年5月にかけ「鳥栖駅東短期施策検討会」が4回開催され、市民の意見聴取を目的として、短期施策の整備候補案である『南側地下通路を延伸する案』や『虹の橋を利用する案』など5つの案に関する意見や具体化にあたって重視すべき点、まちづくりの推進を見据えた連携事業等について協議が行われている。

その後、鳥栖駅東短期施策検討会の意見を踏まえ、「鳥栖駅東短期施策えき・まちづくり協議会」が令和6年10月から3回開催される中で、5つの案から2つの案に絞り、さらに深度化して検討した結果、事業期間・事業費共に有利で費用便益(B/C)が補助要件を満たす、『虹の橋を活用し、改札連絡通路を設け各ホームにつながる跨線橋を設置する案』に令和7年7月11日に開催された第3回協議会にて決定されている。

当委員会としては、令和7年6月20日に駅周辺整備課より第2回目までの協議会が行われた内容の報告を受け、上記内容の質疑応答を行ったところである。

第3回協議会において『虹の橋を活用する案』の方針が決定された中、9月定例会において、鳥栖駅周辺整備事業（鳥栖駅東短期施策）について鳥栖駅東短期施策検討業務委託

6,400万円の予備設計費が可決されたところである。

今後については、予備設計の実施から来年度以降に実施設計が予定されているが、事業期間の短縮や事業費の縮減等について、また、虹の橋の整備についてなど東口利用者の利便性の向上について意見聴取や検討が必要になると考えており、当委員会としては、「鳥栖駅東短期施策えき・まちづくり協議会」の今後の協議内容を含め、鳥栖駅周辺まちづくりについて、引き続き調査・検討を続けていく必要があると考えている。

以上報告とする。